

インターンシップ研修		開講区分	1 学年 前	（後）
		タイプ・総コマ数	研修	32 コマ
		講 師	研修先の森林組合、武田理栄子、内部講師	
目 的	森林組合での就業体験を通して、就業意識を向上させる 現場ならではの知識や技術に触れる			
概 要	1. インターンシップに臨む心構えとしてのマナー講座 2. 森林組合での就業体験 3. ふりかえり			
講 義	テーマ	講義内容		
1	事前学習	研修先となる森林組合について事前に把握する		
2	マナー講座	就業する上での心構え、職場マナーを学ぶ		
3				
4～7	就業体験1日目	府内の森林組合での就業体験		
8～11	就業体験2日目	府内の森林組合での就業体験		
12～15	就業体験3日目	府内の森林組合での就業体験		
16～19	就業体験4日目	府内の森林組合での就業体験		
20～23	就業体験5日目	府内の森林組合での就業体験		
24	ふりかえり	ふりかえり・お礼状書き		
25				
評価方法	可否で判定			
テキスト	必要な資料を配布します			
参 考 書				
備 考	就業体験1日5.3コマに換算。5日×5.3+5コマ≒32コマ			

キャップストーン研修		開講区分	2	学年	前	後
		タイプ・総コマ数	研修	224	コマ	
		講 師	内部講師・研修先の事業体			
目 的	研修を通じて、実社会の課題の認識とその解決のための取組を行い、卒業後に必要となる、より実践的な能力の養成と実社会への適応力の向上を目的とする。					
概 要	1. 制度の説明 2. 長期研修への心得の学習 3. 研修先での長期研修(第1クール・第2クール) 4. ふりかえり・発表(第1クール・第2クール)					
講義	テーマ	講義内容				
1・2	説明会	研修の制度、研修先の調整のやり方の説明 プロフィールの作成、研修先についての事前学習				
3・4	マナー講座	長期研修に対する心得、マナーを習得する				
5・6	事前準備	研修直前の準備				
7～107	研修第1クール	19日間の研修(各研修先にて)				
108・109	第1クールふりかえり	研修の内容をふりかえり、それをまとめて情報共有する お礼状の作成				
110～113	第1クール発表準備	研修第1クールの内容を発表用にまとめる				
114・115	第1クール発表	研修第1クールの内容を発表する				
116～216	研修第2クール	19日間の研修(各研修先にて)				
217・218	第2クールふりかえり	研修の内容をふりかえり、それをまとめて情報共有する お礼状の作成				
219～222	第2クール発表準備	研修第2クールの内容を発表用にまとめる				
223・224	第2クール発表	研修第2クールの内容を発表する				
評価方法	可否で判定					
テキスト	必要な資料を配布します					
参考書						
備 考	第1クール、第2クールとも研修日は1日5.3コマ(8時間)で換算する $5.3 \times 19日 \div 101コマ \times 1・2クール = 202コマ$ 準備・発表等=22コマ 合計202+22=224コマ					

ド イ ツ 研 修		開講区分	2	学 年	前	後
		タイプ・総コマ数	研修		42	コマ
		講 師	安井暁世 他			
目 的	世界各国の森林・林業を学ぶ。特に海外研修の訪問先について事前学習を行い、現地での実習にて日本との違いについて理解を深める。					
概 要	1. 海外研修の訪問先、ドイツの森林・林業の概要を学ぶ 2. 研修先で最低限必要なドイツ語会話の学習 3. 現地研修 4. 研修内容の報告書作成と発表					
講義	テーマ	講義内容				
1	事前学習	林業先進国ドイツの森林・林業を学ぶ				
2	旅行会社からの直前説明会	海外研修へ出発するにあたっての心構え等を学ぶ				
3～5	ドイツ語会話	ドイツ研修で役に立つ会話を学ぶ				
6	直前説明会	直前の準備、当日の日程を確認する				
7～10	ドイツ研修1日目					
11～14	ドイツ研修2日目					
15～18	ドイツ研修3日目					
19～22	ドイツ研修4日目					
23～26	ドイツ研修5日目					
27～30	ドイツ研修6日目					
31～34	ドイツ研修7日目					
35～40	研修報告会準備	現地で得た資料と知識を整理して、研修報告の準備を行う				
41～42	研修報告会	海外研修の成果を1年生はじめ多くの方々に報告する				
評価方法	合否で判定					
テキスト	必要な資料を配布します					
参考書						
備 考	研修前に、事前のパスポート取得、海外旅行用保険への加入、研修に係る費用(70万円程度)の負担が必要になります。					

特 別 研 修 2		開講区分	2 学年	前	後
		タイプ・総コマ数		56	コマ
		講 師	内部講師、外部講師		
目 的	分野横断的な様々なテーマに添った講演や各種イベント等への参加とその準備について、その都度実施する				
概 要					
講義	テーマ	講義内容			
1～11	日本海ウォーキング	日本海ウォーキング準備			
12	防犯・交通指導	南丹警察署から防犯・交通指導			
13	里山ウォーキング	林大周辺の里山を1, 2年生合同でウォーキング			
14	日本海ウォーキング	日本海ウォーキング1, 2年生合同の打合せ			
15,16	チェーンソー実習	新しいチェーンソーの割当(公共専攻)に伴う試運転を兼ねた造材作業			
17～24	日本海ウォーキング	日本海に向かって2日間の山歩き			
25～28	就業セミナー	就業に向けてのマッチング会の開催			
29～44	三林大交流研修会	三林大交流研修会への準備(2日)と参加(1泊2日)			
45～50	林大祭	林大祭準備、林大祭			
51,52	特別講義	皆川元事務次官(林大特別教授)の講義			
53～56	京都府三研修機関合同授業(4)	農業大学校、海の民学者、林業大学校の合同授業(4)			
評価方法	評価タイプ:D				
テキスト	必要な資料を配布します				
参考書					

卒 業 研 究		開講区分	2 学年	前	後
		タイプ・総コマ数	研修	100	コマ
		講 師	内部講師他		
目 的	キャップストーン研修をはじめとする実習や実体験等で感じたり、研修で学んだ問題点や疑問点について、改善策・解決策を研究し、その成果をまとめることにより問題解決と論文としての文章や資料作成の手法を学ぶ 自分自身のライフワークとして、また後輩へと引き継ぐことにより、森林・林業実務の一端を改善する一助とする				
概 要	1. ガイダンス 2. 計画書作成 3. 調査・研究、論文・発表資料作成 4. 卒業研究発表会				
講義	テーマ	講義内容			
1	ガイダンス	卒業研究の進め方、日程の説明			
2	計画書作成	研究テーマを設定し、研究を進めるための計画を立てる			
3					
4					
5	調査・研究	キャップストーン研修(第1クール)期間中に得られた成果などをとりまとめる			
6					
7	調査・研究	キャップストーン研修(第2クール)期間中に得られた成果などをとりまとめる			
8					
9~12	中間発表会	調査・研究の進捗状況を発表する			
13~16	調査・研究	調査・研究などを実施し、得られた成果をとりまとめて卒業論文を作成する 発表会のために要旨と発表用資料を作成する			
17~20					
21~24					
25~28					
29~32					
33~36					
37~40					
41~44					
45~48					
49~52					
53~56					
57~60					
61~64					
65~68					
69~72					
73~76					
77~80					
81~84					
85~88					
89~92					
93~96					
97~100	卒業研究発表会	卒業研究としてとりまとめた成果を発表する			
評価方法	評価シートにより評価				
テキスト	必要な資料を配布します				
参考書					